

道徳通信

～ あの日 生まれた命 ～

愛西市立八開中学校

道徳通信

令和3年12月15日

黄ブロック職員

 東日本大震災の被災者への支援プロジェクトを巡る実話を通して、家族の大切さ、生命の尊さについて考えました。

2011年3月11日、真奈ちゃん（仮名）は誕生しますが、その数時間後に激しい地震に襲われました。震災によって祖母を失ったお母さんは、子供の誕生を素直に喜び気持ちになれない複雑な思いを抱え続けました。そんな中、1歳の誕生日に、北海道の“希望の『君の椅子』”プロジェクトから、「生まれてくれてありがとう。君の居場所はここにあるよ。」という思いが込められた木製の手作りの椅子が贈られました。どんな状況でも、新しい命の誕生は喜ばしいもの。お母さんは、子供の誕生を素直に喜んでいいのだと思えるようになりました。

●● ●● さん

人にとって、命はとても大きな存在だなと思った。私は、命はとても尊いものだなと思った。だから、その命を自分はどう扱うのかを考えていこうと思った。

●● ●● さん

私が思う「命を大切にする」とは、よく分からなかった。でも、生まれてきて良かったと思えるような行動をしていきたいと思った。

●● ●● さん

みんなで支え合うことが大切だなと思った。誰かが支えてくれることによって、何かが変わる気がした。

●● ●● さん

命を大切にすることは、一生懸命に生きること。良い行いをすることが命を大切にしているわけではないと思う。大切にする方法は人それぞれだけど、人の命に優しい気持ちをもって接することが大事だと思う。

●● ●● さん

何があったとしても1つしかない命。1度しかない人生を後悔のないように生きたいと思った。

●● ●● さん

命を大切にすることは当たり前かもしれないけど、そのことを改めて伝えようとしてプロジェクトの人たちはすごいと思いました。

●● ●● さん

人は、色々な人に支えられて生きているんだなということが、改めて分かった。

●● ●● さん

「命を大切にする」ことは、何か特別なことをする意味ではなく、今生きていること、たくさんの人に支えられていることに感謝しながら毎日を過ごす意味だと思った。このことを頭に入れて、人生を歩んでいきたい。

●● ●● さん

はっきりとは分からなかったけれど、生まれたことに喜びをもって、生きていこうと思った。

●● ●● さん

私が同じ状況にあったら、喜び、「生まれてきたことは嬉しいことなんだよ」と子供に伝えようと思った。

●● ●● さん

「命を大切にする」とは、自分のことだけでなく、自分の身近な人や世界中の人の命を大切にするということだと気づいた。私も、誰かを助けたり、支えたりできる人になりたいと思った。

●● ●● さん

一人一人どの日に生まれても大切な命だと分かりました。

「生まれてくれて ありがとう」

